

# 新刊児童図書リスト

(平成 23 年上半期版)

～絵本を中心に～

平成 23 年 10 月  
広島県立図書館

## 第 20 号



### 📖 リストについて

- ・ このリストに掲載した絵本は、平成 23 年 1 月から同年 6 月までの間に出版されたものです。また、児童書は、平成 22 年 1 月から平成 23 年 6 月までの間に出版された読み物です。
- ・ このリストの各テーマは、本を紹介しやすいように便宜上設けたものです。他のテーマに分類できるものもありますが、御了承ください。
- ・ 【 】 の中には、県立図書館の請求記号です。E は絵本、C は知識の絵本を表します。
- ・ このリストで取り上げた本は、全て県立図書館で借りることができます。また、お近くの公共図書館を通して借りることもできますので、御利用ください。

## 絵本

### ◆ あれっ!?

『ふしぎなまちのかおさがし』 阪東勲／写真・文，岩崎書店，2011【E 八】

視点を変えると見えてくる，街の顔を集めた写真絵本。雨にぬれた道路も，電信柱も，じっと見つめていると，顔に見えてくるから不思議です。

『かみちゃん』 たにうちつねお／作，大日本図書，2011【G 7】

紙を丸めたり，折ったり，切ったりしてできたのは，へんてこな生き物たち！紙を使って遊んでみたくなる絵本です。

### ◆ おばけ・モンスター



『もりのおばけ』 かたやまけん／さく・え，福音館書店，2011【E 九】

森で弟とはぐれた男の子が，「おーい」と呼んでみると，森の奥から「おーい」と声がして，おばけが飛んできました。鉛筆画の作品です。

『きつね、きつね、きつねがとおる』 伊藤遊／作，岡本順／絵，ポプラ社，2011【E 一】

早く大きくなりたい！花嫁行列も，お祭りも，背が小さい女の子は，大人の陰に隠れて，見ることができません。けれど，子どもにしか見えないものもあります。それは…。

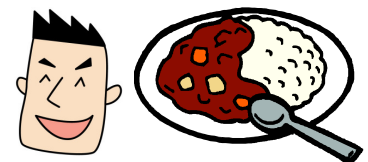
『うみぼうず』 杉山亮／作，軽部武宏／絵，ポプラ社，2011【E 二】

日本の怖いおばけを描いた「杉山亮のおばけ話絵本」シリーズの『のっぺらぼう』に続く第2弾です。

『ロージーのモンスターたいじ』 フィリップ・ヴェヒター／作，酒寄進一／訳，ひさかたチャイルド，2011【E 三】

ウサギのロージーは，毎晩，怖いモンスターの夢を見ては，目を覚ましていました。このままではいけないと思ったロージーは，本を読んで，モンスターのことを勉強することにしました。

### ◆ パパ



『パパ・カレー』 武田美穂／作，ほるぷ出版，2011【E 四】

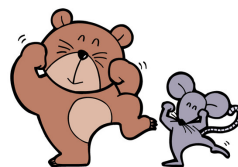
「きょうのカレーはパパがつくる。」材料は大きめ。そして，「バナナ」入り。リズムカルな文章と画面いっぱいの絵で，カレーがおいしくできあがっていく様子が描かれています。

『おとうさんおかえり』 マーガレット・ワイズ・ブラウン／文，スティーヴン・サヴェッジ／絵，さくまゆみこ／訳，ブロンズ新社，2011【E 五】

魚やテントウムシ，ウサギのお父さん…。夜になると，みんな家にお父さんが帰ってきます。いろいろな色彩で夜の風景を表した美しい絵本です。

『パパのしごとはわるものです』板橋雅弘／作，吉田尚令／絵，岩崎書店，2011【E 1】

ある日，こっそりパパの仕事について行ったぼくは，パパが悪役のプロレスラーだったことを知ります。「せいぎのみかたに やっつけられる パパなんて，だいぎらいだ。」…。



◆ ともだち

『おめでとうおひさま』中川ひろたか／作，片山健／絵，小学館，2011【E 2】

真っ暗な海から，「ぼん！」とおひさまが登場します。「おめでとうみんな」「おめでとうおひさま」と，おひさまと動物たちは挨拶して，新年の抱負を語り合いました。

『いっしょならもっといい』ルイス・スロボドキン／作，木坂涼／訳，偕成社，2011【E 3】

シーソーやブランコで遊ぼう。「ぼく」は一人でも遊べるけど，二人ならもっと楽しくなる…。誰かと一緒にの大切さを感じることができる絵本です。

『ともだちやもんな，ぼくら』くすのきしげのり／作，福田岩緒／絵，えほんの社，2011【E 4】

ぼくとマナブとヒデトシはカブトムシを捕ろうと木に登ったところで，カミナリじいさんに見付かっています。三人は思わず逃げ出しますが，ヒデトシが転んでしまっ…。



◆ ことば

『あいうえおおきなだいふくだ』たるいしまこ／作，福音館書店，2011【E 5】

ウサギと大福を巡る騒動が「あ」から「ん」までの文章でつづられています。小学校1年生から2年生向けの読み物をそろえた「ランドセルブックス」シリーズの一冊。

『せきとりしりとり』サトシン／作，高島那生／絵，文溪堂，2011【E 6】

一文一文がしりとりになっています。関取の稽古風景からライバル「かばのやま」との因縁の対決まで，息もつかせぬシーンが続きます。

『串かつやよしこさん』長谷川義史／作，アリス館，2011【E 7】

よしこさんの串かつは，人々を幸せな気持ちにする串かつです。よしこさんの「レンコン」の串かつを食べたカップルは，「結婚」の約束をしました。



◆ 動物

『やぎのしずかのたいへんなたいへないちにち』田島征三／作，偕成社，2011【E 8】

夢中で草を食べていたしずかは，うっかりバッタの足をかんでしまい，そこから大変なことが，次々起きます。作者が実際に飼っていたヤギがモデルになっています。

**『ぼくちのゴリ』笠野裕一／さく，福音館書店，2011【C 4】**

ぼくが飼っているイヌの「ゴリ」の生態や習慣などを紹介しています。イヌの気持ちが分かる絵本です。

**『コウモリのルーファスくん』トミ・ウンゲラー／さく，いまえよしとも／やく，BL出版，2011【E ㍑】**

コウモリのルーファスくんは，自分の黒い姿にうんざりしていました。あるとき，原っぱに，誰かが忘れていった絵の具箱を見つけたルーファスくんは，自分をきれいに塗り替えることにしました。

**『うずらのうーちゃんの話』かつやかおり／作，福音館書店，2011【E ㍑】**

ぼくは，幼稚園でもらったウズラを「うずら<sup>の</sup>うーちゃん」と名前を付けて，育てることにしました。元気いっぱい暴れん坊のうーちゃんですが，あるとき，ネコに襲われて…。

**『まちのいぬといなかのかえる』モー・ウィレムズ／文，ジョン・J. ミュース／絵，さくまゆみこ／訳，岩波書店，2011【E ㍑】**

春，街のイヌが田舎にやってくる，一匹のカエルと友達になりました。イヌは，田舎に来る度に，カエルの元へまっしぐら！やがて，季節は移ろい，冬がやってきました。



◆ **自然**

**『さがりばな』横塚眞己人／作，講談社，2011【C 4】**

「さがりばな」は，奄美大島より南に分布している木です。甘い香りを放ちながら，一夜限りの花を咲かせます。

**『あさがお』荒井真紀／文・絵 金の星社，2011【C 4】**

小さな種をまき，芽が出て花が咲き，再び種ができる…。あさがおの一生を，温かみのある細密な絵で描いた絵本です。

**『ながいながいよる』マリオン・デー・パウアー／文，テッド・ルウィン／絵，千葉茂樹／訳，岩波書店，2011【E ㍑】**

冬の夜の静かな森。動物たちは，長い夜が明けるのを待っています。しんとした雪の冷たさが伝わってくる，青色を基調とした絵本です。ゴールデン・カイト賞受賞作品。

◆ **知識**

**『わたし、くわがた』得田之久／ぶん，たかはしきよし／え，福音館書店，2011【C 4】**

クワガタの雌に焦点を当てた絵本です。雄のクワガタとの違いや，生活の様子が描かれています。

『このよでいちばんはやいのは』 ロバート・フローマン／原作，天野祐吉／翻案，あべ弘士／絵，福音館書店，2011【C 4】

ウサギとカメが競争すると，速いのはウサギですが，ウサギより速いのは…。順に速いものを追っていきます。さて，世界で一番速いのは，何なのでしょう。

『はらぺこさん』 やぎゅうげんいちろう／さく，福音館書店，2011【C 4】

おなかですいて「はらぺこさん」になるのは，体の燃料が足りなくなった合図です。食べることの意味を考えさせられる絵本です。



## ◆ 平和

『へいわってどんなこと？』 浜田桂子／作，童心社，2011【E Ⅱ】

「へいわってどんなこと？」の答えを，子どもにも分かりやすく説明しています。「日・中・韓平和絵本」シリーズ

『京劇がきえた日－秦淮河・一九三七－』 姚紅／作，中由美子／訳，童心社，2011【E Ⅳ】

1937年（昭和12年），南京の少女の家に泊まった京劇の役者が，少女に芝居の切符をくれました。『へいわってどんなこと？』に続く，同シリーズ。

『非武装地帯に春がくると』 イオクベ／作，おおたけきよみ／訳，童心社，2011【E Ⅰ】

朝鮮半島の非武装地帯の四季の移ろいと，それを見つめるおじいさんの思いを描きます。同シリーズ。

『「けんぼう」のおはなし』 井上ひさし／原案，武田美穂／絵，講談社，2011【C 3】

平成22年に亡くなった井上ひさしさんが，小学校4年生から6年生までの子どもたちに向けて話したことを基にして作られた作品です。

## ◆ 個性

『しげちゃん』 室井滋／作，長谷川義史／絵，金の星社，2011【E Ⅲ】

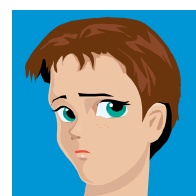
「<sup>しげ</sup>滋」という名前が，男の子みたく嫌だった「しげちゃん」ですが，お母さんから名前の由来を聞いて…。

『たかこ』 清水真裕／文，青山友美／絵，童心社，2011【E Ⅴ】

十二単を着て，扇子を持った転校生がやって来ました。名前は「たかこ」。隣の席になったばかりが，「よろしく」と言うと，たかこは，「こころやすくならむ」と言いました。

『名前をうばわれたなかまたち』 タシエス／作，横湯園子／訳，さ・え・ら書房，2011【E Ⅵ】

学校でいじめを受けている少年は，恐怖におびえる日々を過ごしていました。生きようとする気力が失われたとき，少年の足は，アパートの最上階に向かいました。





## ◆ 赤ちゃん向け絵本

### 『ころころにゃーん』長新太／さく，福音館書店，2011【E ㊦】

寝そべっているネコの上に丸いものが「ころころ」転がってきて「にゃーん」と鳴きました。「ころころ」「にゃーん」の繰り返しが楽しい作品です。

### 『こちょこちょ』福知伸夫／さく，福音館書店，2011【E ㊧】

「こちょこちょ」すると、動物たちが身をよじらせて大笑い！その表情を見ているだけで、くすぐったくなってしまいそうです。

### 『パンツのはきかた』岸田今日子／さく，佐野洋子／え，福音館書店，2011【E ㊨】

トイレから出てきたブタさんが、パンツを一生懸命はいていきます。「はじめに かたあし」。そして、「それから もう かたっぽ」…。パンツはうまくはけるでしょうか。

### 『まるちゃんとくろちゃんのおうち』ささきようこ／作，ポプラ社，2011【E ㊩】

まるちゃんとくろちゃんの新しい小屋ができました。二匹は、もう赤ちゃんじゃない！と大喜び。けれど、夜になると急に寂しくなってきました…。

### 『うさこちゃんまほうをつかう』ディック・ブルーナ／ぶん／え，まつおかきょうこ／やく，福音館書店，2011【E ㊪】

うさこちゃんは、自分が妖精で魔法が使えるらと考え、空想にふけります。まずはおうちをお城に変えて、それから…。

## ◆ シリーズ絵本

### 『ねむくなんかないっ！』ジョナサン・アレン／さく，せなあいこ／やく，評論社，2011【E ㊫】

大人のまねをして一日中起きていたら、眠くて眠くて仕方ありません。でも、フクちゃんは、「ねむくなんかないっ！」と頑張っています。『かわいくなんかないっ！』『こわくなんかないっ！』の続編です。

### 『そうべえふしぎなりゅうぐうじょう一桂米朝・上方落語・兵庫船・小倉船よりー』たじまゆきひこ／作，童心社，2011【E ㊬】

ふか（サメ）のいる海へ投げ込まれたそうべえたちが、逃れてたどり着いたのは、竜宮城でした。「そうべえ」シリーズの第5弾。

### 『ブルくんかくれんぼ』ふくざわゆみこ／さく，福音館書店，2011【E ㊭】

イヌのブルくんは、かなちゃんと仲良しです。でも、今日はかなちゃんがお絵かきに夢中で、ブルくんと遊んでくれません。ブルくんは、何とかかなちゃんの気を引こうとします。

### 『ねこざかなのはなび』わたなべゆういち／作・絵，フレーベル館，2011【E ㊮】

ネコと魚が一緒になった「ねこざかな」の今回の仕掛けは、豪華な打ち上げ花火です。

## 児童図書

### ◆ 不思議な世界



『赤ちゃんは魔女』ピアンカ・ピッツォルノ／作，杉本あり／訳，高橋由為子／絵，徳間書店，2010【973 ヒ】

イタリアの作品。ばく大な遺産を受け継ぐために，魔女と結婚しなければならなくなった急げ者の青年アストルバルは，必死で魔女を探しますが，なかなか見付かりません。それもそのはず，魔女は，まだ「赤ちゃん」だったのです。

『銀のらせんをたどれば』ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作，市田泉／訳，佐竹美保／絵，徳間書店，2010【933 シ】

神話とファンタジーがミックスされたお話。少女ジュターは，「神話暦」の中で，スリルあふれる冒険を体験します。そして，今まで知らなかったお父さんとお母さんの秘密を知ることになります。

『墓場の少年－ノーボディ・オーエンズの奇妙な生活－』ニール・ゲイマン／著，金原瑞人／訳，角川書店，2010【933 ケ】

謎の男によって，家族を殺された赤ちゃんは，よちよち歩きで，夜中の墓地に入っていました。墓地に住んでいた幽霊たちは，それぞれ手分けして，その赤ちゃんを育てることになったのでした。カーネギー賞，ニューベリー賞受賞作品。

### ◆ おばあちゃん



『シカゴよりとんでもない町』リチャード・ペック／著，斎藤倫子／訳，東京創元社，2010【933 ヘ】

シカゴから引っ越してきた田舎の町。隣の家には，気に入らないことがあると，大声で怒鳴って，銃をぶっ放す迫力のあるおばあちゃんが住んでいました。

『おまじないのがみ』赤羽じゅんこ／作，石井勉／絵，文研出版，2011【Y913 フ】

やさしいおばあちゃんが教えてくれた，友だちと仲良くするためのおまじないは，「へのかえるへのかえる おへそがなくてもかえるはげんき…」。口ずさむだけで，何だか元気になれそうです。

### ◆ ともだち

『ヘビとトカゲきょうからともだち』ジョイ・カウリー／作，ガヴィン・ビショップ／絵，もりうちすみこ／訳，アリス館，2011【933 カ】

砂漠で出会ったヘビとトカゲのお話。お互いに言いたいことを言い合うけれど，なぜだか，相性の良い2匹。でも，実は，ヘビはトカゲには言えない「ひみつ」を持っているのでした。ニュージーランド・ポスト年間最優秀図書賞受賞作品。

**『ぼくたちとワッフルハート』マリア・パル／作，松沢あさか／訳，堀川理万子／絵，さ・え・ら書房，2011【949 ハ】**

小学生のトレリは、幼なじみの女の子レーナと、いつもとんでもないいたずらをしてかす。ヒツジを追いかけて、がけから落ちたときは、二人を救助するために、ヘリコプターまで出動したのだった。大好きなおおばちゃん、二人のために作ってくれたおいしいワッフルの話等、心温まるエピソードもちりばめられている。ノルウェーの作品。

**『みても、いい?』磯みゆき／作，はたこうしろう／絵，ポプラ社，2010【Y913 4】**

いつもいたずらばかりして、人に嫌われるようなことばかりしているキツネは、最近どうも調子が悪いのです。それは、お姫様みたいなきれいな目をしたウサギが「みても、いい?」と言いながら、後をついてくるからです。

◆ わくわく

**『大きなクマのタハマパー一家をたてるのまきー』ハンネレ・フォヴィ／作，末延弘子／訳，いたやさとし／絵，ひさかたチャイルド，2010【993 フ】**

クマのタハマパーは、大きな丸太で、家を新しく建て直すことにしました。ハリネズミ、ヘラジカ、リスといった森の仲間たちも、協力してくれるのですが、みんな、のんびりやのすっこけやさん。ユーモアたっぷりの作品。

**『たれ耳おおかみのジョン』きむらゆういち／作，高島邦生／絵，主婦の友社，2011【913 キ】**

かっこいいオオカミにあこがれたイヌのジョンは、自分もオオカミになろうと決心します。今まで飼い主にエサをもらっていたジョンが、果たして自然界で生きていくことができるのでしょうか。ケンカ、裏切り、友情と、ハラハラドキドキさせられるお話です。

**『カエデ騎士団と月の精』リーッカ・ヤンツィ／作，末延弘子／訳，評論社，2010【993 ヤ】**

百年に一度目覚めるといふ月の精の伝説を知ったリス・ハリネズミ・ネズミの3匹。「カエデ騎士団」を結成し、秘密の王冠を守り、「暗黒の時代」が来ないように力を尽くします。フィンランドの作品。

**『ミンティたちの森のかくれ家』キャロル・ライリー・ブリンク／著，谷口由美子／訳，中村悦子／絵，文溪堂，2011【933 フ】**

冬の森で、車が立ち往生してしまったミンティ一家。仕方なく、誰もいない別荘に入り込み、しばらく住まわせてもらうことにしました。パパは、のんきにパンケーキを焼いたりしていますが、ミンティは、勝手に人の家に入り込んでいたことが、気になって仕方ありませんでした。

◆ 動物の命



**『ぼくは昆虫カメラマンー小さな命を見つめてー』新開孝／写真・文，岩崎書店，2010【486 シ】**

中学生の頃、ヘルマン・ヘッセの『少年の日の思い出』を読んだ新開孝さんは、チョウやガに興味を持ち、昆虫採集を始めたそうです。大人になって、昆虫カメラマンになることを夢見た新開さん。彼の初仕事は、映画を撮影するために必要なミミズのエサ作りでした。





『トキよ未来へはばたけーニッポニア・ニッポンを守る人たちー』国松俊英／著，くもん出版，2011【488 ㇿ】

絶滅の危機に瀕していたトキを守ろうと尽力した人たちを追った本。トキのために、田んぼにエサをまいてやった高野高治さん。野生のトキを餌付けした宇治金太郎さん。失敗を繰り返しながらも、トキを見守り続けたトキ保護センターの職員たち。

『アンモナイトの森でー少女チヨとヒグマの物語ー』市川洋介／著，水野ぷりん／絵，学研教育出版，2010【913 イ】

北海道に住む少女チヨは、ヒグマの住んでいる森で、渦を巻いた不思議な石を見付けました。ところが、その石を、是非、見たいという人たちがたくさんやって来て…。小川未明文学賞大賞。



#### ◆ 命に向き合う時

『わすれないよリトル・ジョッシュ』マイケル・モーパーゴ／作，渋谷弘子／訳，牧野鈴子／絵，文研出版，2010【933 ㇿ】

ベッキーは、家の農場で出産を手伝った子ヒツジに「リトル・ジョッシュ」と名前を付けてかわいがっていました。ある冬、イギリスで、口蹄疫という伝染病が発生しました。被害を防ぐためには、口蹄疫にかかった家畜は、全て殺さなくてはなりません。口蹄疫は、どんどん広がって、ついに、ベッキーの農場の動物たちも、処分しなければならなくなりました。

『100歳の少年と12通の手紙』エリック＝エマニュエル・シュミット／著，阪田由美子／訳，河出書房新社，2010【953.7 ヂ110】

あとわずかしか生きられない少年オスカー。病院ボランティアのローズさんが、オスカーに提案したのは、1日で10歳年を取ったつもりになって生きることにして、毎日神様に宛てて、手紙を書こうということでした。

#### ◆ 社会に目を向けると

『折り紙でたくさんの笑顔を一盲目の「折り紙大使」加瀬三郎物語ー』田島栄次／文・写真，永井泰子／絵，石川えり子／絵，学研教育出版，2010【754 ㇿ】

目が不自由な加瀬さんは、他の人が折った折り紙を、指で触って確かめながら、折り方を少しずつ覚えていきました。そんな加瀬さんをテレビで見て知ったカメラマンの田島さんは、ある時、来日する子どもたちに折り紙を教えてあげてほしいと頼んだのでした。

子どもたちが大好きな加瀬さんは、その後、いろいろな国に行って、子どもたちに折り紙を教えてあげることになります。



**『きみ、ひとりじゃない』デボラ・エリス／作，もりうちすみこ／訳，さ・え・ら書房，2011【933 エ】**

人知れず，密航しようとする少年少女たち。船に乗って，イギリスに行くしか，自分らしく生きる道はないと，彼らは命がけて海を渡るのです。絶えず命の危険にさらされる社会で，子どもが一人で生きていく様子を描いた作品。

**『どんぐり銀行は森の中—どんぐりあつめて里山づくり—』大塚菜生／文，国土社，2010【654 オ】**

森で集めたどんぐりを持っていくと，どんぐり銀行で，通帳に〈貯金〉ができます。子どもたちに，森に親しみを持ってもらうという香川県高松市の取組を紹介しています。



**◆ 心静かに**

**『アルフレートの時計台』斉藤洋／著，森田みちよ／画，偕成社，2011【913 サ】**

クラウドとアルフレートは，親友でした。大人になって，二人の思い出の時計台を訪ねたクラウドは，そこで，子どもの頃のままでのアルフレートに出会ってしまいます。どうして，アルフレートはここにいるのか？しかも，なぜ，子どものままでの姿なのか？謎に満ちた設定ですが，子どもの純粋な気持ちが伝わってくるお話です。

**『旅するウサギ』竹下文子／作，大庭賢哉／絵，小峰書店，2010【913 タ】**

ウサギの耳を持つ男の子が，行き先も決めずに，気ままな旅をする話。時には，わざと迷子になってみたり，家出してきた少女を諭してみたり。

**◆ 自分って何？**

**『太陽のくに』エヴァ・アスムセン／作，批谷玲子／訳，金の星社，2010【949 ア】**

家族で旅行に来た「太陽のくに」。そこで，大地震に見舞われ一人ぼっちになったラスムスは，これまで考えたこともなかった生き方に出会います。

**『11をさがして』パトリシア・ライリー・ギフ／作，岡本さゆり／訳，佐竹美保／絵，文研出版，2010【933 キ】**

11 という数字を見ると，なぜだかものすごく気分が悪くなる少年サム。サムには，一緒に暮らしているおじいちゃんにも相談できないことが，ありました。

